

# ふれあい 雪谷

平成14年  
さくら号



(小池 高橋さんの作品)



## 母校の思い出 ⑨ 創立頃の洗足池小学校

タケちゃんのお店で自治会の役員のタケちゃん、  
ゴーちゃんマーちゃんが思いで話しに花を咲かせていました。

「子供が増えて小池小学校が一杯になってきたので洗足池小学校  
ができた。僕が6年生になった昭和28年4月1日に洗小は開校  
したが、あと1年間なので小池小から転校しなかった。行けば1  
回生になったわけだ。」

「僕は3回生。4年生の時に開校と同時に小池小から移ってき  
た。校庭にはまだ防空壕が残っていた。ある時地下の防空壕が陥  
没したのか校庭にぽっかり穴があいたことがあった。学校の敷地  
は今と同じだが、大岡山からきて今の北門に突き当って左折する  
道がそのまま校庭の真ん中を横切って中原街道まで通っていた。  
校舎は道の東側にはなかった。男の子も女の子もお互い股ぐらに  
首を突っ込んで馬になり何人もその上に飛び乗って馬をつぶす遊  
びに夢中だった。ガキ大将もいたし、いじめもあったし、先生に  
も殴られたが、みな元気だったね。だから今でも僕らのクラス会  
は盛況だよ。」

「僕は6回生。1年生から入学した最初の期じゃないかな。校庭  
を横切る道はまだあったよ。この道を横切って給食室から校舎に  
給食を運ぶのが大変だった。中原街道の工事現場からロープを失  
敬してきて給食室と校舎をロープウェイみたいにつないでみた。  
そして給食のバケツをつるして運ぼうとしたが、みそ汁はこぼれ  
るし先生に見つかって1日で撤去さ。観察用の鶏  
が狭い小屋の中で可哀想なので校庭で遊ばせてや  
ろうと出したのはよかったが、学校の隣りの家の  
庭に入り込んで捕まえられなくなってしまった。  
逃げた鶏が朝早くからコケコッコってうるさい  
と学校に苦情がきた。すいぶんいたずらして叱ら  
れたが楽しかったね。」

(笹丸 T・M)



## サークル紹介 ⑩ 「生活と木彫の会」

私たちの「生活と木彫の会」  
雪谷教室が発足してから三十年  
が経ち、東雪谷会館をお借りし  
てお稽古場を移してから十年が  
過ぎました。

文字通り生活に即した木彫を  
楽しむ会で、大きい作品では、  
姿見鏡台・小筆筒・椅子・乱れ  
函等から小は写真立て・状差  
し・ブローチまで、各人各様。  
彫り柄も植物(ことにお花の得  
意な人)、幾何模様 of 得意な方  
など思い思いに彫っておりま  
す。

作品は自分の手元に置き楽し  
みながら使用し、また家族や友

人に贈って喜ばれて?おります。  
御転任の牧師さんへの御饗別と  
なつた葡萄柄の掛時計は、今も異  
国の地で時を刻み、お嬢さんの御  
結婚に心を込めたお支度の一つと  
なりました。

孫が注文のバラの鏡は、毎朝の  
おしゃれに役立っているかと思っ  
と、老後の生活の張り合いとなっ  
ております。

佳い先生に恵まれ、刀を持つ手  
も危うかった私たちが、三十年も  
続けてこられたのも、ひとえに先  
生のお人柄による  
ものと、一同感謝  
して励んでおりま  
す。

(東中 C・K)



## 私の健康法 ⑧

我家の一族十四人が集まり恒  
例の新年会。その席で長男が  
「おやじさんも元気でなによ  
り。今年は喜寿のお祝いの年で  
はないかな」と一言。「ああ私  
もいつの間にかそんな年になっ  
たのか」と思ったとたん持って  
いた盃がなぜか重く感じ「そ  
うだ酒も少しひかえねば」と思  
いながらも入る酒(今更ひかえて  
もどうなる訳でもあるまい)  
そんな調子であまり健康のこ  
となど深く考えたこともなかつ  
た。

そんな私は豆腐商を営み夢中  
で働いて来た。ところが八年前



交通事故にあい廃業、  
仕事から離れて出来た  
余暇をどうすれば良い  
か迷う毎日。

「そつだ今まで地域の皆様に  
お世話になってきたお礼に」と  
始めたのがリハビリをかねて町  
内の清掃・空ビン・空カン・古  
紙のリサイクル、また町会運営  
のお手伝い。頼まれれば庭仕事  
植木の手入れ、趣味として週一  
回の詩吟。これも大切な健康法  
の一つかな。

家にこもらず人と交わり、語  
り、天から授かった大切なから  
だ、一日も長く健康でありたい  
と願う毎日です。

(上池上 村山 二三夫 76歳)

【発行】わがまち大田雪谷地区推進委員会  
【編集】ふれあい雪谷編集委員会  
連絡先 雪谷特別出張所  
大田区東雪谷四一三一二三  
電話 三七二九一五一七  
【発行日】平成十四年四月一日  
通巻第四十六号

(石川台 渋谷 武次)



## 雪谷フットボールクラブ

1930年13ヶ国で第1回ワールドカップが、南米のウルグアイで行なわれました。

今年は5月31日～6月30日の1ヶ月間にわたり、第17回ワールドカップが日本と韓国の2ヶ国（アジアで初めて）で32ヶ国参加して行われます。

“ワールドカップ”という言葉は、サッカーのこの世界大会のためのもので、各国が国を挙げての“人類の祭典”であるからであります。

日本ではまだ盛り上がりませんが、サッカーを愛する者にとっては、こんな幸せなことはありません。入場券を手に入れた人はスタジアムで世界のスタープレーヤーのボールの蹴る音、息づかいを聞きます。入場券のない人は、世界の各国から“人類の祭典”を観に来るサポーターと交流の輪をひろげるのも“人類の祭典”に参加するひとつの方法かと思います。

ひるがえ フットボールクラブ

翻って雪谷F・Cですが、縁あって、前回投稿させて頂いた折、サッカーというスポーツは、クリエイティブで決断力があり、組織に適合できる人間を形成するのに最も良いスポーツであると書かせていただきました。

今回は、地域に根づく任意のスポーツクラブの意義について書かせていただきます。

わが雪谷F・Cは、雪谷小学校の児童を中心に創設し、私が監督を引き受けて17年になります。当初は2人のコーチと、数名のお母さんの世話役たちと細々とやって参りました。現在では約10名のスタッフ及びお母さんの世話役と、一生懸命、骨身も惜しまずボランティアの精神で頑張っています。

雪谷F・Cは、技術や試合に勝つことを教えるだけでなく、スポーツマンシップの精神をもった選手の育成と徹底。

1 ルールに従う 2 礼儀・作法 3 ベストを尽くす  
4 チームワークの精神 5 自己練磨

以上をモットーにして、スタッフ全員で力を注いでいるところであります。

ややもすると、不良に走ろうとする若いO・Bや子供たちに、約20年という間に輩出したO・Bやその父兄の方々の何百、何千という目で、雪谷という地域に根づいた伝統と組織の中で、見守るという事により、その不良化の歯止めになっているのではないかと、自負している次第であります。

皆々様の温かいご支援、ご協力を下さるようお願い申し上げます。

（雪谷F・C 監督 大前 卓也）

新1年生おめでとう！ ママからのメッセージが届きました！



晃介へ 送ることば

この春、下の子も6年間の保育園生活が終わり、私も通算9年間の送り迎えが終わります。

今でこそ迎えに行っても知らん顔で夢中で遊んでいますが、生後6ヶ月で入園した時、初めての外の世界で1ヶ月もミルクも飲まずに泣き続けたガンコ者！ 保育園の語り草になってしまいましたね。

遊び・散歩・食事・お昼寝・運動会や園外保育と友達や先生と過ごしたことが、きっと一生の宝物になったことと思います。

あつという間に小学生。人生は短いから何にでも思いっきりチャレンジして、いい人生を送ってほしいと願っています。あなたたちが大きくなったら、私も負けずにまた大好きなオートバイに乗って “オパタリ”のツーリングクラブ” を作りますからよろしくね！

（池の台 岡安 由美）



夕月海へ 送ることば

暑い日・寒い日・雨の日、どんな日も自転車にゆられ通った保育園。6年もの長い間本当によく頑張ってくれました。夕月海笑顔や日々大きくなっていく姿に励まされ、ママも頑張ることができました。

片言のおしゃべりの中に少しづつ友達の名前が増えて行く喜び、一人でできなかった事ができる様になって、自信に満ちた笑顔を見せてくれた時の喜び、沢山の喜びを味あわせてもらいました。

そして、園生活最後の運動会の「ソーラン節」では、友達と一緒に目標に向かって頑張るすばらしさを知る事ができました。様々な場面で支えてくださった方々に感謝の気持ちいっぱい、卒園できたことを幸せに思います。

（小池 田代 弘子）

## 美しい環境づくり ③

めざせ！ ゴミ分別の達人

ゴミを捨てようと思った時、「可燃ゴミ」なのか「不燃ゴミ」なのか悩む事はありませんか？例えば裏にアルミ箔が貼ってある牛乳パック（可燃）、使い捨てカイロ（不燃）や貝殻（可燃）などです。

お弁当の容器など『紙と同じように燃やせます』と、わざわざ書いてあっても不燃ゴミとして出すそうです。

昨年の11月から東雪谷1～5丁目と上池台2・3・5丁目の地域では、週1回資源ゴミ（びん・缶・古紙）の収集が始まりましたが、びんについているプラスチックのふたがなかなか取りはずせないのがっかりします。商品を作る段階でリサイクルの事まで考えてくれると嬉しいですね。

たかがゴミ出しですが、忘れた頃に荒しにやってくるカラスからゴミを守らなければいけないし、それなりに大変です。

でも今の世の中ゴミはどうしても出さないといけないので、トレイやペットボトルは店頭回収をしているお店に持って行ってゴミの量を減らすことと、正しく分別してゴミを出す事をせめて心がけようと思っています。

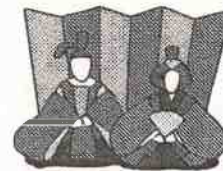
なお、＜資源とゴミの正しい分け方・出し方＞は清掃事務所で貰えます。

（上池上 C・N）

## 自治会リレー随筆

ひなにんぎょう

「雛人形」の思いで



毎年、雛祭りが近づくと取り出す雛人形の数が減ってゆき、今年、手元に残したのは、内裏雛一対だけとなった。

長女の初節句にと福島から上京してきた姑と共に、蒲田の人形店へ買いに行ったのは、忘れもしない宵節句の日であった。

もうあらかた売れて、がらんとした店に、それでも幾組かの人形が並んでいた。中でもひときわ上品で優しい顔立ちの内裏様を見つけて、ひと目で気に入った。予算オーバーのこの品を少々は値切って手に入れ、持ち帰った。

さっそく、ひと間きりのアパートの部屋にいそいそと飾り、娘の成長を祈り皆で祝った。

雛人形は輝いて美しく、娘は限りなく可愛く、私たち夫婦は若く可能性に満ちていた。

この日がついこの間のように思われるのに、娘は今では三女の母となり看護婦の激務をこなしながら、健やかにたくましく暮らしている。初めてこの雛を飾ったアパートは、とうの昔に取り壊されて別の家が建った。その後、引越した家で生まれた二女、三女等が育った2度目の住まいも、昨年暮立退いた後取り壊され、更地となっている。古家財とともに他の雛は思いきりよく処分して引越してきたのだが、内裏雛だけは手放せず、今もこうして私の手許で静かに微笑んでいる。

娘たちの健やかな成長と引き換えに、私もこのお雛様もすっかり年をとってしまったものである。

（小池 佐藤 ゆき江）

俳句

恋<sup>と</sup>遂<sup>と</sup>げて 猫余念なき 毛づくろひ

はし<sup>と</sup>と 水浴<sup>あ</sup>ぶ羽音 花の昼

（東雪 西堀 愛美）

日を入れて 撮りし枝垂<sup>しだれ</sup>や 花曇

（東中 岩泉 つねと）



この情報誌は古紙70%の用紙を使用しています。